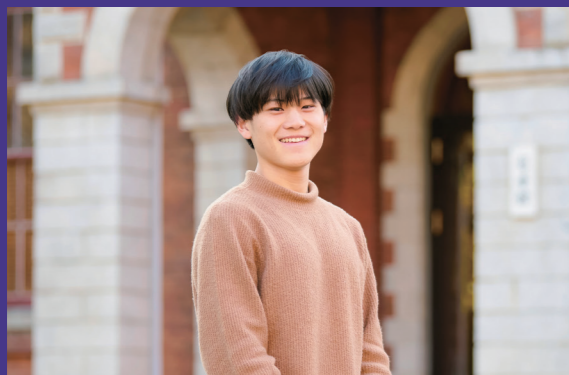


「DDASH」履修生の声



専攻外の AI・データサイエンスを使いこなし、自分の武器に。

経済学部 経済学科 津島克洋さん

DDASH科目受講のきっかけは、「AIやデータサイエンスが注目される世の中で、役に立つだろう」という漠然とした考えでした。2年間学んだ現在は、データを適切に読み解き意味を抽出する能力や、AIを活用し課題解決につなげるスキルが習得できたと実感しています。「AI基礎」の授業では、悪用等の倫理的課題やAIにとって必要不可欠な電力の確保に関わる環境問題など、テクノロジーの副作用について取り扱う事も。我々の生活を豊かにしてくれるAIやデータサイエンス

の負の側面も考慮し、「良心」の視点からも捉える必要があることを知りました。

きっかけは漠然としたものでしたが、リテラシーから応用スキルまで多様な科目を受講していく中で、この分野の面白さに夢中に。応用基礎レベルを終えた現在は、専門レベルでの体系的な学びが可能なDDASH副専攻の受講を考えています。身につけたスキルや知識を武器にして将来の選択肢を増やせるように、残り2年間でさらに学びを深めたいです。



同志社データサイエンス・AI教育プログラム

DDASH

生成 AI 「DAIB」

DAIB

Doshisha AI Buddy

「DAIB」はNTT西日本と共同開発した学習を支援するAIチャットボットです。「授業の要約」「演習問題作成」「キーワード解説」「自由質問への対応」等、多彩な機能を備えます。電子教科書と連携し、体系的な学びをサポートし、いつでもどこでも気軽に質問しながら理解を深めることができます。

学習歴のデジタル証明「オープンバッジ」



プログラムの必要単位を満たせば、知識やスキルを証明するデジタル証明「オープンバッジ」を発行。履歴書やSNSで共有ができ、就職活動などで活用できます。

paiza ラーニング



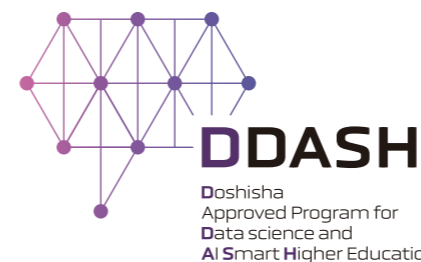
DDASH履修生を対象に、動画プログラミング学習サービス「paiza ラーニング」の有料コンテンツを無料で利用できる「paiza ラーニング 学校フリーパス」を提供しています。1回3分の動画と演習問題を組み合わせ、基礎から応用まで幅広いスキルを効率的に習得できます。面倒な環境設定が不要で隙間時間を活用して気軽にプログラミングを学べます。

DDASH e-BOOK 電子書籍サービス

図書館の電子書籍プラットフォーム「KinoDen」「Maruzen eBook Library」「ProQuest Ebook Central」では、いつでもどこでも電子書籍が閲覧できます。キーワード検索や音声読み上げなど、電子ならではの便利な機能が魅力です。DDASH関連の書籍も多数取り揃えているため、データサイエンスやAIへの理解を深めるために活用してください。



大企業の約半数が経営企画や製品企画、マーケティングにデータを活用、約2割がさらに高度なAIや機械学習技術をビジネスに利用、加えて、大企業の約5割がデータ分析専門の部署を置いています。現代社会におけるデータ利活用は急速に広がりました。文系だから、専門外だから関係ないという判断では時代に取り残されてしまいます。データ分析に関する知識技能は、文系・理系の垣根なく現代の「読み・書き・そろばん」。社会人基礎力として必要とされているものです。



数理・データサイエンス・AIについて

3つのレベルで、段階を踏んで

学ぶことができるプログラム

10数年におよぶデータサイエンス教育の実績に立脚
総合大学の強みを活かし、14学部の力を結集

同志社大学
全学共通教養教育センター



2022年度開始

DDASH-L

リテラシーレベル

文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に認定

認定有効期限
2028年3月31日

実社会で目にするデータを適切に読み解き、使い方を判断できる水準の数理・データサイエンス・AIに関する能力習得を目標としたプログラム。

- **DDASH-L 修了要件** (必要科目数3科目6単位以上)
必修科目2単位、選択科目4単位以上
計6単位以上を修得すること。
- **必修科目** データサイエンス概論
- **選択科目** 数学1・2、数学、自然科学特論*、データサイエンス1・2、サイバーセキュリティ入門、論理的思考の基礎(1)・(2)、論理的思考の応用(1)・(2)、Statistics for the Social Sciences and Humanities
*自然科学特論は数学クラスのみが対象

2023年度開始

DDASH-A

応用基礎レベル

文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)」に認定

認定有効期限
2029年3月31日

数理・データサイエンス・AI教育(リテラシーレベル)を補完的・発展的に学びデータから意味を抽出し、現場にフィードバックする能力や、AIを活用し課題解決につなげる基礎能力を修得し、自らの専門分野に数理・データサイエンス・AIを応用するための大局的な視点獲得を目標とする。

- **DDASH-A 修了要件** (必要科目数6科目12単位以上)
DDASH-Lの修了要件に加えて、必修3科目を修得すること。
- **必修科目** データサイエンス基礎
データエンジニアリング基礎
AI基礎

2023年度開始

DDASH副専攻

専門分野との往還

学部の専門・特性を活かした科目を自分で選択

数理・データサイエンス・AI教育(応用基礎レベル)の学びに加えて、各学部で開設している50科目以上の学部専門科目を選択科目に準備。学部の専門性を活かした体系的な履修も可能とし、エキスパートレベルである専門教育への学びに、よりスムーズにつなげることを目標とする。修了者対象に履修証明書も発行できる。

- **DDASH副専攻 修了要件** (必要科目数10科目20単位以上)
DDASH-Aの修了要件に加えて、
選択科目4科目8単位以上を修得すること。
- **選択科目(A)** DDASH-L選択科目
- **選択科目(B)** Introduction to Quantitative Data Analysis, Mathematics and its History
- **選択科目(C)** 学部専門科目多数

エキスパート(大学院レベル)



DDASH概要サイト
「DOSHISHA VISION2025」特設サイト

